

# 注 意 報

農技セ第5508号  
令和4年7月8日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

令和4年度農作物病害虫発生予察情報について

令和4年度農作物病害虫発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

令和4年度病害虫発生予察注意報第1号

令和4年7月8日  
徳 島 県

6月第6半旬から7月第1半旬における予察灯及びフェロモントラップ調査において、果樹カメムシ類の誘殺数が平年に比べて多く、今後も被害の拡大が懸念されますので、注意報を発令します。

栽培現地においては、園地巡回を行い、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

農 物 名：果樹全般（特に、カキ、モモ、ナシ、カンキツ類、キウイフルーツ）

病害虫名：果樹カメムシ類（主に、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

1. 発生地域 県内全域
2. 発生時期 7月上旬～
3. 発生程度 多(前年より多く、平年より多い)

#### 4. 注意報発令の根拠

(1) 6月第6半旬から7月第1半旬における予察灯調査では、チャバネアオカメムシの誘殺数は、上板町で2,462頭と平年(54頭)の45.6倍、勝浦町で808頭と平年(56頭)の14.4倍誘殺された(表1)。過去20年間で、この時期に1,000頭以上誘殺されたのは初めてであり、今後、発生が増加が懸念される。

ツヤアオカメムシの誘殺数は、上板町では76頭、勝浦町では37頭と、平年並の発生であるが、両地点とも前年よりやや多く、今後、発生が増加が懸念される(表1)。

(2) 6月第6半旬から7月第1半旬におけるフェロモントラップ調査では、チャバネアオカメムシが263頭と、平年(54頭)の4.8倍誘殺された(図1)。

(3) 6月下旬に行った園地調査では、上板町のカキ圃場や勝浦町の温州ミカン圃場で果樹カメムシ類の寄生が確認された。

(4) 高松地方气象台が7月7日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並であるが、特に期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

#### 5. 防除法等

(1) 果樹園周辺の山林や雑木林から成虫が飛来してくるので、園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行う。

(2) 夜行性の虫なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施すると効果が高い。

(3) 移動性が高いので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

- (4) 飛来数が多い場合は、継続的な防除が必要であるが、薬剤の影響でハダニ類が増加する場合があるので注意する。
- (5) 防除については、徳島県植物防疫指針(URL:<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/tokushima>)を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。
- (6) 風の強い日には散布を控え、風向きに注意し、圃場周辺への薬剤飛散防止に努める。

表1 予察灯への各種果樹カメムシ類の誘殺数

[チャバネアオカメムシの誘殺数]								[ツヤアオカメムシの誘殺数]							
月	半旬	勝浦町			上板町			月	半旬	勝浦町			上板町		
		2022年	2021年	平年	2022年	2021年	平年			2022年	2021年	平年	2022年	2021年	平年
6	1	0	1	7	9	1	6	6	1	0	3	44	15	17	14
	2	0	1	9	22	9	12		2	0	23	118	11	23	18
	3	1	4	15	6	15	6		3	0	13	79	11	25	16
	4	0	5	13	79	5	9		4	0	13	125	49	6	13
	5	0	0	13	266	1	8		5	0	3	95	65	3	14
	6	559	3	25	328	14	21		6	20	1	70	33	6	13
7	1	249	20	31	<b>2134</b>	29	33	7	1	17	11	43	43	9	17
	2		0	26		1	40		2		4	41		2	13

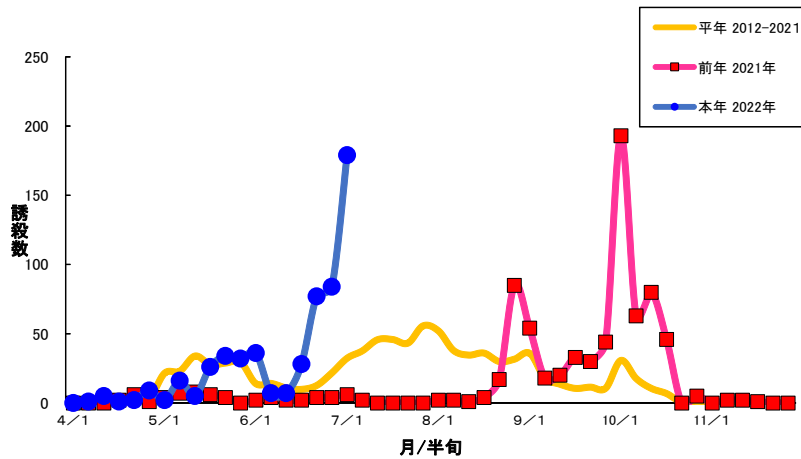


図1 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数の推移(石井町)

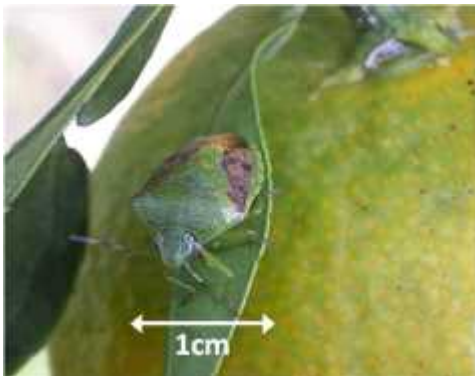


図2 チャバネアオカメムシ

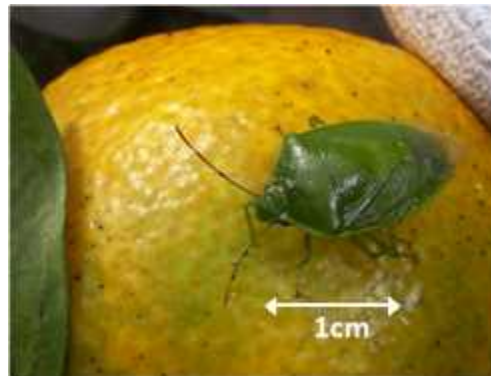


図3 ツヤアオカメムシ